



瓦せんべいがウケました。



日本から持ってきた瓦せんべい(香川の名物ですね)を学校の子ども達、先生全員に一枚ずつプレゼントしました。ほとんどの子ども達には大好評で、みんな喜んで食べていました。しかし一方で、独特なおいが気になって食べられない子も少しいました。パラオ人は日本人と感性がよく似ていて、お正月はお雑煮を食べます。ひよっとしたら、好きな味が似ているのかもしれないですね。

地域と文化

村の最深部へ

アルモノグイ州にはイミオンと言う名の村があります。一番昔からある村ですが、さらにそのイミオンの奥にはそれよりも前に住んでいた人々の村のあとが残っています。



土地の所有者を示すたくさんの看板が立ち並ぶ場所を越えると、川があり橋がかかっていました。雨が降って滑りやすそうだったので、その先に行くことは今回はあきらめました。次回はその奥に進んでみようと思います。それにしても、誰も住んでいない場所もちゃんと手入れを続けているのはすごいと思いませんか？

センパイ隊員たちの報告会

1月20日に、PCC（パラオ地域大学）というところでセンパイJICA隊員たちの活動報告会がありました。これは、残り2か月で任期を終え、日本に帰ってしまう隊員達が二年間何をしてきたのかを発表する場です。6人の隊員が、パラオで何を頑張ってきたのか、成し遂げたのをパラオ人たちの前で発表します。「できることならもっといてほしい」とパラオ人に言われている隊員もいて、自分たちのがんばりはしっかり見られているんだと改めて思いました。筒井先生も報告会まであと1年です。

すごいなあと思った隊員は、自分からできることを探してどんどんチャレンジしている人でした。失敗を恐れずに、何事にもチャレンジする姿勢は、大人になっても大事ですね。



算数のハナシ

パラオでは、算数の教え方が日本とちょっと違うこともあって面白いです。例えば繰り下がりのある引き算↓

$$\begin{array}{r}
 \cancel{1}2 \\
 - \quad 8 \\
 \hline
 4
 \end{array}$$

- ①まず、8と何を足すと10になるか考え、横に書きます(2)
- ②上の2とさっきの2を足します
- ③一の位の答えは2+2で4
- ④十の位は繰り下がりのため0
- ⑤答えは4

繰り下がりを考えず、引く数に注目する解き方で、とても速く答えが出せます。面白い！